

市民助け合いネット

# 仲間通信

[第22号]

発行

NPO法人—  
市民助け合いネット

代表 片岡 興一  
〒270-0121 流山市西初石4-370-93  
☎・FAX 04-7153-5733

平成23年10月末現在の

私たちの仲間

総数 859名  
(内訳)  
提供会員 355名  
利用会員 504名

## 「市民助け合いネット」平成23年度上期の活動

報告

「市民助け合いネット」が発足して七年半、高齢化社会の拡大と財政的な理由で公的介護保険制度が改正され、同制度による介護サービス対象が減少するなど、取り巻く環境の変化により、私たちの活動がますます重要になり、地域にとって無くてはならないものとなっています。

### ますます広がる「助け合い活動」

左記の表は、今年度上期六ヶ月(四月～九月)の活動実績を昨年と比較したのですが、合計では昨年同様に一七％と増加しています。(これを三年前と比較すると一・八倍になり、五年前と比較すると三・二倍になります)

区分	回数(件)	件数(%)
外出支援	1339	130
家事支援	694	128
院内介助・買い物	447	115
庭の手入れ	215	126
犬の散歩	211	182
公民館受託	66	—
その他	53	21
合計	3025	117

活動の種類別に見てみると、車での「外出支援」が最も多く一三〇〇回を超え、前年同期比二三〇％と急増しています。次に多いのが「家事支援」で六九四回(前年比二二八％)とこれも急増しています。これらは、高齢者が急増しているだけでなく、これまで「介護保険制度」で行われていたサービス対象が制度改正によって減少したことによるものと考えられます。

### 提案の増に「努力を

今のところ、この増大し続けているサービスを、提供会員の皆様のご協力により円滑に実施できており、提供会員の皆様に感謝しています。しかし、これからも高齢者の増加が進み、私たちの「助け合い活動」への依存度は高まり続け、提供会員の増員がますます必要です。

安心して暮らせるまちづくりのために、この活動の灯を消すわけにはいきません。会員の皆様には、ご友人、ご近所の知人など、ぜひ入会をお勧めくださるようお願いいたします。



有償運送車両による外出支援

### 「老化防止」「介護予防」をめざす好評! 「ふれあいサロン」事業

「市民助け合いネット」では、高齢者の「介護予防」と「老化防止」を目的に、『ふれあいサロン』事業を行っています。

この事業は、私たちが進めている「助け合い活動」が、高齢者が「困ったとき」を支援する発生活動型といえるのですが、困ったことが発生しないように「予防」することも大切なことと考え、実施しているものです。

事業は、一部の自治会と、「市民助け合いネット」が運営する初石・南流山両公民館の自主事業として行われています。

その内容は、前半の一時間を「体の老化防止」のための「カンタン体操」(社団・3B体操の指導)を行い、後半の一時間は「心の老化防止」のための「おしゃべりタイム」となっています。開催場所は、住いの近くで多くの方が参加しやすい場所ということで、自治会館や公民館として行っています。



みんなで楽しく「カンタン体操」

民館は毎月一回、南流山センターは毎月一回行われ、各会場とも一回二〇～三〇人が参加して大変好評を得ています。今年の上期(四月～十月)の実績は左記のとおりです。

自治会	回数	人数
美田	12	297
名都野	11	195
宮園	6	182
豊台	1	35
長崎	1	35
ゆたか	1	16
東初石一丁目	5	90
ときわまつ	13	285
小計	50	1135

公民館	回数	人数
初石公民館	14	332
南流山センター	7	211
小計	21	543

合計	回数	人数
合計	71	1678

# 「流山ロードレース大会」成功裡に終わる

流山市からの受託業務活動



「市民助け合いネットワーク」が流山市から運営業務を受託している『流山ロードレース大会』（主催：流山市・流山市体育協会）が、去る十月九日（日）成功の内に終了しました。今回は、T Xとおたかの森駅前をスタートし、同芝生公園をフィニッシュとした10Kmと2Kmの新しいコースで行われ、昨年を約一〇〇人以上上回る二九二七人が参加して、好天のもと午前十時に一斉にスタートしました。

新しいコースは、スタートから初石方面に向かい、若葉台リクリンセンターリスポートフィールド三輪野山リ南部中学校北側市野谷地区を經由してフィニッシュするもので、春から準備を始め、総勢七〇〇人のスタッフが前日の設営と当日の運営にあたりました。結果、関係機関とスタッフの皆さんの協力で、目指した「安全で楽しいロードレース大会」が実現できました。

なお、新しい会場とコースだったため、幾つかの問題点もあり、来年はこれを改善しよりよいロードレース大会にして、流山のブランドの一つにしたいものです。

## 「東日本大震災」被災地を応援

今回の「流山ロードレース大会」は、第20回記念大会ということで、記念の意義を「東日本大震災被災地を応援しよう！」のスローガンの下に、二つの支援を行うことにしました。

一つ目が、参加費一人3200円（例年3000円）の内の200円に加え、同額を実行委員会から被災地への義援金（中央募金会）とすることとし、合計1,302,400円が集まりました。

二つ目は、全国的にも目新しい試みで、参加者が身につけるゼッケンの背中側を白地にし、各人が応援メッセージを書くことにしました。

3000人近い参加者全員がイラスト入りや思い思いのメッセージを書いて走りました。



## 助け合う地域社会に向けて

### シンポジウムを開催

#### 片岡代表が事例報告で出場

#### 参加予約受付中

「公益法人」長寿社会文化協会（WAC）主催のシンポジウムが、来る十一月十八日（日）午後一時から、新松戸の流通経済大学松戸キャンパスで行われます。

これは、千葉県の「地域支えあい体制作り」事業として行われるもので、当会も協力し共催して「助け合い活動」の輪を広げようとするものです。

当日は、第一部の基調講演に作家の落合恵子さんをお招きし、第二部で、当会の片岡代表と松戸のNPO法人「ふれあいネット松戸」の佐久間副代表が事例報告をします。ぜひ多くの方の参加をお願いします。当会のホームページにチラシが載

### 「ふれあい基金」の第 二 回 監 査 を 実 施

去る十一月十六日に、第二回目の「ふれあい基金監査委員会」を開催、「ふれあい基金」の監査が行われました。

提供会員からお預りしている「ふれあい基金」は、サービス提供の精算後、当会の会計からはずして、京葉銀行口座に別途預金として管理しています。（十月末現在の残高は六六八万七千円となっています）

今回の監査は、今年の四月八日に、外部から監査委員として、提供会員の藤原坦さんと千葉淳子さんの二人を迎えて監査委員会を設置して第一回目の監査に続くものです。

ついでいます。  
参加する場合、予約が必要で事務所に「二報ください。予約受付と同時にチラシをお送りします。主催団体は、当会も会員で、片岡代表が理事を務めている全国的な福祉団体です。

### 東日本大震災被災地を支援

- ◆四月一日  
市民福祉団体「全国協議会」  
義援金 十万円
- ◆四月二十八日  
流山市NPO義援金 五十万円
- ◆十月二十日  
「ホットカーベット送ろう」運動  
に、ふれあいネット松戸を通じて  
五万円

合計 六十七万円

### 新年始の事務局活動

事務局の新年始の活動は、左記のとおりです。  
サービス活動はこの限りではありませんので、お早めにお申込み下さい。

- |           |          |
|-----------|----------|
| 12月29日(木) | 年内最後の活動日 |
| 12月30日(金) |          |
| 12月31日(土) |          |
| 1月1日(日)   | お休み      |
| 1月2日(月)   |          |
| 1月3日(火)   |          |
| 1月4日(水)   | 新年の活動開始日 |